

1 自分だけの植物図鑑をつくろう

用意するもの

メモ用紙、鉛筆、植物図鑑、デジカメ（または携帯電話等）、虫めがね、（あればパソコン）

やりかた

- 1 家の周りで花の咲いている植物をじっくり観察して、記録する。
（1）咲いている季節、（2）大きさ、（3）花の色、（4）花びらの数、（5）におい、（6）集まっている虫、（7）花の咲いている場所（日陰？日なた？乾燥している所？湿ったところ？風が吹きさらしの所？などなど）、（8）その他の特徴
- 2 デジカメ（または携帯電話等）で写真を撮る。
- 3 写真を貼り、植物の名前を調べ、まとめる。植物の名前がわからないときはとりあえず自分で名前をつける。パソコンがある人は、パソコンでまとめるとよい。
世界にたった一つだけの自作の植物図鑑ができあがる。
- 4 月に1度、年間をとおして行えば、季節ごとに見られる図鑑もできる。

保護者の方へ

デジカメで写真を撮影することは次の利点があります。

- 1 何度も取り直しができます。取ったらすぐに確認もできます。
- 2 ピントが合いやすく、全て自動で合わせてくれます。
飛んでいるチョウなど動いているものを撮影する時には被写界深度を深くできます。（つまり、距離感があり、奥行きが深い写真ができます。）
- 3 記録が残ります。保存データに撮影日時、ISO、絞り、シャッター速度が記録されています。後で、整理しやすくなります。

参考文献

- 1) 海野和男（2006）カラー版デジカメ自然観察のすすめ（岩波ジュニア新書）、岩波書店
- 2) 林弥栄監修（2008）野に咲く花（山溪ハンディ図鑑1）、山と溪谷社
- 3) 牧野富太郎（2000）新訂牧野新日本植物図鑑、（株）北隆館